

WINDOW



ひろめ市場に掲げられた被災地に向けての応援メッセージと、福島県相馬市で復興作業にあっている様子

2012
Spring
No.56

特集 東日本大震災から一年

- 国際ふれあい広場2011
- 異文化理解講座～世界に目を向けよう!～
- 新しい国際交流員・JICA国際協力推進員の紹介
- A letter from abroad

本間 圭(JICA青年海外協力隊ラオス派遣)

- INFORMATION BOARD

協会からのお知らせ

土佐弁ミュージカル2012のご案内

国際ふれあい広場2011

2011年10月22日(土)・23日(日)、今回で7回目となる国際協力・交流のイベント「国際ふれあい広場2011」を高知市のひろめ市場などで開催しました。記念講演会や県内民間国際関係団体による海外民芸品の展示販売や活動写真の展示などをとおして、国際協力・交流について来場者に理解を深めていただきました。



南口から見たひろめ会場の様子

初日には、昨年の6月～7月にかけて県内各地で行われた「第21回日米草の根交流サミット高知大会」(実行委員長:当協会前代表理事・橋井昭六)の共催団体である(財)ジョン万次郎ホワイトフィールド記念国際草の根交流センター(CIE)事務局長の轟木ひろ子氏を講師として招き、記念講演会を高知会館で開催しました。サミット関係者を含む聴衆を前に大会のエピソードを交えながらジョン万次郎とその子孫が今日まで育ててきたホワイトフィールド家との交流に象徴される草の根国際交流の意義などについて熱く語っていただきました。(同サミットは今年8月～9月にかけて、米国ノース・テキサスで第22回大会が開催される予定です。)



CIE事務局長
轟木ひろ子氏

2日目には、ひろめ市場イベント広場で、当協会、JICA四国や県内民間国際交流団体、合わせて10団体が各ブースで団体の活動紹介や海外民芸品の販売、また特設ステージでは青年海外協力隊OB・OGによる体験談や中国の民族舞踊、韓国とアフリカの音楽の披露も行われ、多くの来場者に楽しんでいただくことができました。



参加団体の1つ、グアテマラ生産者支援ネットワーク「みるば」片岡桂子さんからのメッセージ:

今年はステージでの催しが充実し、たくさんのお客さんが足を止めて下さいました。看板も目につきやすかったようで、去年までは説明しないと海外のものと気づかない方も多かったのですが、ほとんどの方が「グアテマラってどこ?」と聞いて下さいました。品物の方は高額商品はほとんど売れませんでした、小物やカレンダーなどが売れ、そこそこの売り上げでした。いつも出店料などもなく参加させていただいて感謝しています。県内の国際交流団体の皆さんとも交流ができてよかったです。今後もグアテマラの支援活動をがんばっていききたいと思います。



「みるば」出展の様子(左から2番目が片岡さん)

出展団体(順不同):

在日本大韓国民団高知県地方本部、中国帰国者の会、高知よさこい連、特定非営利活動法人Brain、高知県青年海外協力隊OB会、第21回日米草の根交流サミット高知大会実行委員会、高知県中南米親善協会、JICA四国、みるば、(公財)高知県国際交流協会

異文化理解講座 ～世界に目を向けよう！～

当協会では年2回(6月、11月頃)、異国の様々な生活様式や習慣などを高知県民の皆さんに紹介し、文化に触れて頂く異文化理解講座を開催しています。

2011年は、高知県国際交流員(アメリカ、韓国、中国、オーストラリア)や、高知大学の留学生(マレーシア、コンゴ民主共和国)を講師として開催し、全講座共に老若男女問わず、多くの方に受講して頂きました。引き続き2012年も、様々な国の異文化を高知県民の皆さんに伝えていこうと思います。是非、ご家族やご友人の方をお誘いの上、ご参加ください。(※開催情報はHPでご確認ください。)



韓国の講座の様子。
講師の国際交流員、キムさんがチマチョゴリで熱弁！



コンゴ民主共和国の講座の様子。
高知大学の留学生ンガツさんが歌を熱唱！



国際交流員 キム ヘヨン 金 恵栄さん

ヨロブン、アンニョンハセヨ(皆さん、こんにちは)。高知県国際交流員のキムです。昨年の異文化理解講座を通じて多くの高知県の方々と交流することができました。参加して下さいました皆さん、カムサハムニダ(ありがとうございます)！今年も様々な韓国の姿を紹介していきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。



高知大学留学生 ランドゥ・ロジャー・ンガツさん

ンボテ(こんにちは)！サンゴ ニニ(元気ですか)？ 高知大学医学部のランドゥ・ロジャー・ンガツです。コンゴの言葉と日本語は少し似ていて、MISO(目)、SAKANA(遊ぶ)、MATE(待って下さい)、PILIPILI(辛い)、NANI?(誰)などがあります。高知の皆さん、もっとコンゴについて学んでみませんか？

～受講者の感想～

日本に近い国から遠い国までの色々な講座があり、異文化を学ぶと共に、これから世界を見る目が変わってきました。講師の方とはもちろん、その他の受講者の方とも交流を深め楽しむことができました。今後も幅広い国の講座を開催して頂き、高知県民の国際交流の発展に繋げて欲しいと思います。



中国の講座での講師、黄さんと受講者の方の楽しい団欒。

東日本大震災から 1年を迎えて

—災害時における外国人住民支援について今回の震災が教えてくれたこと—

高知県国際交流協会 マネージャー 吉田 進

「高台に避難してください!」

宮城県・南三陸町の防災無線で繰り返し呼びかけられたこの日本語が理解できず逃げ遅れ津波で亡くなったフィリピン人の悲報を伝える全国紙を読んだ時、外国人の避難誘導の難しさを改めて思い知らされました。

今号の発行が東日本大震災から1年を迎える時期に当たるといふことと、昨年11月に福島県の被災地域を視察した状況を踏まえ、今回、特集として2ページに渡り想定される次の南海地震発生時における本県での外国人住民への支援をどうすべきかについて整理したいと思います。

本県の外国人登録者数はここ数年3,600人前後で推移しています。この数はおおよそ奈半利町の人口規模に匹敵します。また、海に面する市町村だけの数をまとめると全体の9割近くの外国人が津波浸水被害が予想される市町村に住んでいることが分かります。(表参照)

	県内の外国人登録者数	うち沿岸市町村の外国人登録者数
2006年	3,655人	3,172人
2007年	3,594人	3,117人
2008年	3,579人	3,108人
2009年	3,625人	3,171人
2010年	3,541人	3,097人

県文化・国際課調べ(人数は各年12月末日現在のデータ)

この全ての数の外国人が津波浸水予想地域に居住しているとは言えないまでも、多数の外国人が津波の影響を受けることは想像に難しくありません。彼らには、日本人にも言えますが、揺れを感じたらすぐに安全な高い場所に避難するよう日頃から意識付けを図っていくことが求められます。



漁港施設だった場所。がれきが山積みされている。(相馬市)

冒頭で紹介したフィリピン人の身に降りかかった悲劇は、日本語の理解が不十分であるいずれの外国人にも起こりうることで、日常会話に全く支障のない外国人でも災害時特有の日本語(「高台」「避難」など)を理解できない場合が多いと思います。外国人に対する避難誘



導に際しては、できるだけ平易な日本語(冒頭の例の場合「高いところに逃げてください」)の使用を心掛けるべきだと思います。一方で、外国人に対しては、災害時特有の日本語で特に生死に関わる日本語(「逃げろ」など)については今からすぐに学習すべきと考えます。(※学習教材として当協会発行の6ヶ国語(英語、中国語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、ベトナム語)版及びやさしい日本語版の南海地震対策パンフレットをご利用ください。)

東日本大震災では通信の途絶、交通機関の麻痺、燃料不足から被災地域の人々の安否の確認に困難を極めました。こうした状況において外国人の安否確認については、外国人コミュニティと呼ばれる外国人同士のつながりや地域の日本語教室など日頃から外国人と接点のある日本人や国際交流組織からの情報が頼りになったようです。こうした人的ネットワークが災害時においても役に立つということを今回の震災が示してくれたので、本県においても人的ネットワークの更なる拡充に努めるべきと考えます。



水田だった土地に壊れた漁船が放置されている(相馬市)



後方の高台の家屋は残っているが手前の家屋は流失した(相馬市)

地震後のケアについても日本人被災者とは違った対応が求められます。前述の「言葉」の壁に加えて「文化」の壁により避難所でトラブルになったケースや、受けることができたはずの各種被災者救済制度が受けられなかったケースなど、私たち日本人には気づきにくい外国人特有の問題があります。そうした問題が起きないように、また起きた場合でも迅速に解決できるような体制整備が急務ですが、その答えの1つとして、「災害時語学サポーター」と呼ばれる日本人サイドと外国人サイドの架け橋となる通訳者を養成し、前述の人的ネットワーク

と各種給付手続の窓口となる市町村と連携して外国人被災者支援に当たることが望ましいです。

今回の震災で失ったものは計り知れないほど大きいです。集落の全ての家屋が流され建物の土台や基礎だけが露わになっている福島県相馬市の現場を訪れたとき、その惨状に言葉を失うと同時に津波への恐怖が全身を貫きました。いつか高知でも同じことが起きます。このような未曾有の大災害にあっては被害を完全になくすことはおそらく不可能ですが、被害を少しでも軽減することはできます。今回の大震災から得た教訓を私たちが住む地域で活かしていくことが犠牲となられた御霊へのせめてもの供養と心に刻み前へ進みたいと思います。



被災地域の皆さん、一緒に頑張りましょう!(南相馬市の道の駅)

新しいJICA四国国際協力推進員

はじめまして、昨年9月よりJICA四国の国際協力推進員として高知デスクに着任しました山内桂と申します。

国際協力という分野を高知県のみなさんに身近に感じていただけるよう、開発途上国と私たちの生活がどのように関わっているのか、広く伝えていけるよう国際理解教育に力を入れています。国際協力というと、どうしても海外に出て活動することと関連づけられがちですが、実は私たちの普通のくらしを見直すことによって十分に国際協力につながるものがたくさんあります。

人・モノ・お金が世界のグローバル化によって、大きく動く時代に私たちは生きています。私たちの暮らすこの高知でも、身の回りにある食料品・衣料・電化製品などあらゆるものが外国から輸入され消費されています。私たちが大量に消費しているものが実は児童労働や環境破壊を誘発する原因だとしたら・・・誰かの犠牲の上に成り立っているのだとしたら・・・そのようなつながりに気づき・考えられる高知の人が増えることを願って活動しています。地球規模の問題について分かりやすく解説していきますので、国際理解教育を学校教育現場や団体での意識啓発活動などに是非ご活用ください。よろしくお祈りします。



JICA四国
国際協力推進員

やまうち かつら
山内 桂
(高知県出身)

新しい高知市国際交流員の紹介

こんにちは。私はジョシュア・デュラン・カールソンと申します。私はアメリカのカリフォルニア州出身です。26歳です。今は高知市役所で勤務していますが、それまでは高知県の大川村でALTとして勤務していました。

国際交流員になってから色々な活動をしてきましたが、一番面白かったのは料理講座でした。私は今まで料理をすることがあまりなかったので、市民と交流しながら新しい料理を作ることがすごく楽しかったです。もっと料理が上手になりたいので、今年は料理講座をもっと開催したいです。

それ以外では、自分の文化を紹介するためにプレゼンテーションをよくします。また、市役所では翻訳業務が多くあります。特に高知市とアメリカの姉妹都市フレズノ市間のやりとりを翻訳する仕事がたくさんあります。

私は、この仕事を通じてたくさんの人と関わり成長していきたいと思っています。ぜひみなさんの学校や地域で国際交流のつながりを広げましょう。



高知市
国際
交流員

ジョシュア・デュラン・カールソン
(アメリカ・カリフォルニア州出身)

新しい越知町国際交流員の紹介

안녕하세요 (こんにちは)!

平成23年4月から越知町の国際交流員として働いている金智愛(キム・ジエ)と申します。越知町教育委員会に配属され韓国語教室や国際交流関連の仕事を担当しています。生まれも育ちも韓国ソウルで、日本へは旅行で数回訪れたことはありますが、このように長く滞在するのは高知県が初めてです。ですから、高知県は私にとってとても特別なところですよ。

越知町では豊かな自然のみならず、明るくて優しい町民の皆さんに恵まれてとても楽しい日々を過ごしています。特に国際交流員の仕事はこれまでの人生で経験したことのないことがたくさんあって、毎日いい思い出を作っています。「住めば都」という言葉の通り私は高知県の越知町を第二のふるさととして頑張りたいと思っています。韓国の文化の紹介や地域の行事に参加して、皆さんに親しまれる国際交流員を目指しています。よろしくお祈りします!



越知町
国際
交流員

キム ジエ
金 智愛
(韓国・ソウル出身)



A letter from abroad

ラオス人民民主共和国からのたより



JICA青年海外協力隊 本間 圭

この原稿を読んでいる皆様、初めまして。

私は本間圭といいます。青年海外協力隊の隊員としてラオス人民民主共和国ウドムサイ県で活動を行っています。活動内容はサッカーのコーチングで、ラオスサッカー界の育成及び強化に努めています。

ラオスでもサッカーは大変人気のあるスポーツで、人々は暇さえあればボールを蹴っています。

ラオスには3年に一度、**ແຂວງງານກິລາແຫ່ງຊາດ** (ケンカンキラヘンサード) というスポーツの競技会が開催されます。

ແຂວງງານ (ケンカン) とは『大会』という意味で、また**ກິລາ** (キラ) とは『スポーツ』という意味です。そして**ແຫ່ງຊາດ** (ヘンサード) とは『国立』という意味で直訳すると【ラオス国体】という意味になります。

私が活動している任地のウドムサイ県では、2014年にこのラオス国体が開催されます。ウドムサイ県はこの地元開催のラオス国体でサッカーチームを優勝させたいという目標を掲げています。私はその目標を叶えるためのお手伝いをしにラオスにやってきました。

ちなみに2011年はラオス国体の年で、今年も地方都市のルアンパバーンで開催されました。

残念ながらウドムサイ選抜はこのラオス国体で予選敗退という結果に終わってしまいました。



ルアンパバーン国体

さて、それでは私の活動について具体的にお話していきたいと思います。

今は県内のサッカーチームの練習を定期的に見学しに行っています。

ウドムサイ県内には男子10チーム・女子6チームのサッカーチームが存在しています。

私の仕事は各チームから選手をピックアップして強化練習を行うことです。

練習の内容については日本でやっているような練習と変わりません。ただ、ボールが人数分足りない、練習道具が不足している等の障害もいくつかあります。また、定期的に試合を組みたいのですが、試合が組めなくて困っています。練習場のグラウンドも凸凹が激しく、思うように出来ない所が今の悩みです。

しかし発想を変え、工夫を凝らすことによってその問題も解決できると思い、日々試行錯誤しながらトライしています。

まだ私の活動は始まったばかり、これからいろんな困難にぶつかることになると思いますが、上述したように、工夫と思考を重ねながらどんな障害も乗り越えていけるように頑張りたいと思います。



ウドムサイの練習場

INFORMATION BOARD

協会からのお知らせ

【新しく発行した出版物】

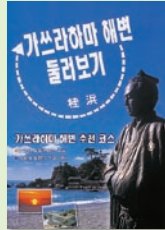
- 「高知城を探検だ！」の中国語(簡体字・繁体字)版
- 「ぐるっと桂浜」の中国語(簡体字・繁体字)版と韓国語版

国際観光の振興に寄与するため、高知城と桂浜の観光スポットを紹介する以下の2種類の外国語パンフレットを発行しました。

中国・台湾や韓国からの旅行者や訪問客をこれらの観光地にご案内する際、是非、ご活用ください。(「高知城を探検だ！」の韓国語版は、「高知SGG善意通訳クラブ」が発行しています)



「高知城を探検だ！」の中国語(繁体字)版



「ぐるっと桂浜」の韓国語版

●「小紅帽特快」

在住中国人のための中国語による生活情報冊子も昨年10月より発行しています。

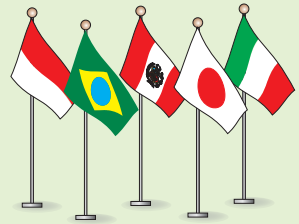
身近な情報が毎回好評です。(協会HPからご覧いただけます。)



「小紅帽特快 Vol.4」

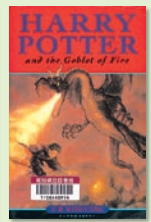
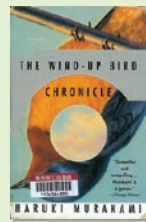
【新しく購入した書籍類等】

旅行本「地球の歩き方」シリーズの最新版を購入しました。また、国旗・卓上旗も多く取り寄せ、現在90カ国ほどそろっています。「地球の歩き方」シリーズの国名・地域名と国旗・卓上旗の国名、またその利用方法については協会HPに掲載していますのでご確認ください。



【公立図書館等を通じての外国図書の物流ネットワーク】

協会には約1700冊の英語を中心とした外国図書があります。これを県内どこにいても借りられるようにするため、県立図書館を中心に運用されている図書の物流ネットワークで協会の外国図書も利用できるようになります。貸出可能な外国図書リストは協会HPの他、当ネットワークに参加している市町村立図書館等でも閲覧できるようにします。当ネットワークを利用した外国図書の貸し出し開始日は今年4月3日(火)を予定しています。詳しくは協会HPをご覧ください。



GENKI青年会 土佐弁ミュージカル2012「絵金 in ネバーランド」

今年も笑いと感動を土佐弁でとどけます！

絵金として親しまれてきた絵師弘瀬金蔵は、青年期は土佐藩家老の御用絵師として務めていたものの、贋作の疑惑が上がり即解雇。二度と筆を握らないと決めたそのとき、ピーターパンならぬピタパンと名乗る人物が現れ、社会から脱出できる世界へ絵金をつれて行く。そこにいたのは大人になりたいメンバーだらけのポップバンド、飛べないティンカーベル、そしてピタパンたちを追う株式会社パイレーツのフック社長とサラリーマン海賊たち！

贋作の疑惑後、絵金は姿を消し、赤岡町で「町絵師・金蔵」として定住するまでの10年の間、何をしていたかは誰も知らない。ネバーランドで冒険していたと言ったら信じますか？謎多き絵金の真相は「土佐弁ミュージカル」の舞台上で明かされます！



昨年の「ちょうそがべ・キャロル」の一場面

ボランティアグループGENKI青年会は、高知県在住の外国人青年を中心として、平成8年から毎年「土佐弁ミュージカル」を上演し、地域の交流と高知の青少年を応援しています。入場は無料ですが、募金活動を行います。頂いた募金は、毎年、海外留学を希望する高知県の中高大学生へ助成金として活用いたしますので、どうぞご協力をお願いします。

4月14日(土)	室戸市	保健福祉センターやすらぎ	14:00
	安芸市	市民会館	18:30
4月15日(日)	高知市	追手前小学校校体育館 【子供向けミニ公演】	10:00
	香南市	弁天座	14:00
	土佐市	市民会館	18:30
4月21日(土)	本山町	プラチナセンター	10:00
	梶原町	ゆすはら座	17:00
4月22日(日)	宿毛市	中央公民館	11:00
	高知市	県民文化ホール	18:30

※開演時間は変更される場合があります。

お問い合わせ：リサ・ヤスタケ
TEL: 088-823-9605 (高知県文化・国際課内)
Email: genkiseinenkai@gmail.com
ブログ: <http://tosabenmusical.blogspot.com/>

